

令和5年度 山梨県立白根高等学校
第1回 学校運営協議会

期日：令和5年4月20日（木）

時間：14：20～16：30

日程 14:25～15:15 授業参観
15:30～16:30・委員委嘱状交付
・学校運営協議会

次 第

進行:(教頭)

記録:(教務係)

I 山梨県立白根高等学校学校運営協議会 委員委嘱

II 第1回学校運営協議会

1 開会のことば

2 校長あいさつ

3 委員自己紹介

4 役員選出(会長・副会長、議長の承認)

<議事>

① 学校運営協議会 規約の確認

② 本校の現状と課題について(学校側説明)

③ 令和5年度学校運営方針・学校指導重点目標について

④ 令和4年度学校評価について(学校側説明)

⑤ 南アルプス市との包括連携協定について

⑥ 創立40周年記念事業について

⑦ 意見交換・懇談

5 諸連絡

6 閉会のことば

▼今後の予定

第2回 令和5年11月16日（木）本校 白朋館ホール

第3回 令和6年2月15日（木）本校 白朋館ホール

学校側出席職員

校 長 伊藤 裕之

事務長 土屋 久明

教 頭 小宮山 隆

記録担当 長谷部 菜穂子

令和5年度 山梨県立白根高等学校

第1回 学校運営協議会 議事録

日時：令和5年4月20日（木） 15：20～16：30 本校白朋館ホール

開会のことば（教頭）

校長あいさつ

本校は同窓会の皆様や、地域の大勢の方々に支援され、愛されてきた学校という印象を強く受けております。以前から本校のさまざまな活躍や取り組みは見たり聞いたりしていましたが、その取り組みや実績を引き継ぎながら、尽力して参りたいと思いますので、皆様のお力添えをお願いいたします。

さて、4月10日に、同窓会役員の皆様やPTA役員の皆様のご臨席をいただく中で、無事入学式を終え、130人の新入生が白根高校での学校生活をスタートしました。先日、オリエンテーションをおこないましたが、新入生は「高校生としての自覚を持って勉強と部活動の両立を図りたい」、「学園祭や学校行事に全力で取り組みたい」「進路実現に向けてがんばりたい」「地域の方々や私たちのお世話になっている方々に、しらね いいね！と言っただけのように、日々努力していきたい。」などの感想が聞かれ、希望や意気込みを感じたところです。

今年度から本校は、南アルプス市と山梨大学の多大なご支援をいただく中で、南アルプス市との包括連携協定を結び、4月5日に市役所にて締結式がおこなわれました。地域と連携した形で探究学習、地域の魅力発見、観光資源開発・紹介、SDGSなどに高校生目線で取り組んでいくこととなりました。山梨大学をはじめ各種の学術機関とも連携し、さまざまな探究活動をおこなって参ります。

そして今年は、本校が創立40周年を迎えました。10月31日には、記念行事を計画しているところです。

本日は、第1回の学校運営協議会ということで、皆様のご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます

委員自己紹介

役員選出

会長：川野様 副会長：森田様

<議事> 議長は川野様

- 1 学校運営協議会 規約の確認（資料P2～P10参照）
- 2 本校の現状と課題について（学校側説明 資料P11～参照）

1. 学習支援グループ

(1) 本年度入学生の出身中学校について

学区外から通学している生徒が多い

(2) 高校入試の成績状況

2. 生徒支援グループ

(1) 生徒会関連行事

(2) 部活動実績

(3) 支援を要する生徒とその対応

(4) 当面の課題

ここ数年、コロナ禍の影響か部活動加入生徒が減少傾向にある。ただ、今年度1年生については積極的に入部するよう働きかけをしている。また部活動について、小規模校でもあり顧問の配置に苦慮している。

3. 進路支援グループ

(1) 進路基本方針

(2) 卒業生進路概況

4. 学校管理グループ

(1) 就学支援金、就学給付金受給者について

(2) 学校施設・設備の改善について

老朽化が目立つ。継続的に県に要望を出していく。

(3) PTA 活動及び地域との連携

(4) 令和4年度 PTA 事業

5. 生徒指導グループ

令和4年度は遅刻をする生徒が増えた。今年度は今のところ遅刻は少ない。

6. 情報管理グループ

A 委員：マネージャーも「入部している」認識で良いか→マネージャーも「入部」

3 令和5年度学校運営方針・学校指導重点について（資料 P 1 6～参照）

- ・学校指導重点は、学校評価における4つの柱にもなっている。
- ・P18 学校経営に⑤を追加した

4 令和4年度学校評価について（資料 P 2 5～参照）

- ・昨年同様、委員の皆様に評価をお願いしたい。
- ・資料 P28 の内容について、1年間かけて評価をお願いします。

5 南アルプス市との包括連携協定について（資料 P 2 2～参照）

- ・1年生の総合的な探究の時間で主に取り組んでいく。
- ・観光甲子園への出場を目指す。

A 委員：この協定は南アルプス市観光推進課が窓口になっている。同課長も白根の1期生。子どもたちが将来的にこの地域で働くことを視野に、連携協定が結ばれた。
校長：『南アルプス市エコパーク』に生徒が載っている。新しいものが5月に発行される。

6 創立40周年記念事業について（資料P24参照）

- ・式典自体は簡略化した形での実施となる。

意見交換・懇談

A 委員：入学生の男女比は？ →男子62名 女子68名

B 委員：入学生にヴァンフォーレの生徒はいるか？ →3人のみ（例年より減っている）

C 委員：キャリアパスポートについて、小学校では「高校まで持っていくからしっかり取り組むように」と指導している。現状高校での状況はどうか。

教務係：入学時に提出させているが、内容には差がある。

教務係：現2年生については、入学時に全員提出させた。昨年度1年間で何かに使った、というわけではないが、例えば総探で取り組ませた防災小説など、自身の活動の振り返りに利用できるよう指導している。

教頭：他の高校でも同じような状況ではないかと思われる。

D 委員：マスク着用について、学校の現状はどうなっているか。

校長：現在は本人の判断となっている。が、現状、ほとんどの生徒がつけている。5月8日以降の対応については、国・県からの方針を待っている状態。

A 委員：卒業式でもマスクは自由化されたが、全員していた。

校長：学校の状況によって違う。甲府工業では卒業式にほとんどしていなかったと聞く。

D 委員：自転車ヘルメットについて、生徒の状況はどうか。

教頭：ほとんどの自転車通学の生徒が購入して被ってきている。若干準備できていない生徒もいるが、ほとんど着用している。

A 委員：学校によって義務化の時期が違う。農林では2学期以降。

E 委員：自身が担当している保険会社では、事故の際の支払いにはヘルメットの着用有無は関係ない。ただ、保険会社により対応が違う。

F 委員：学校案内パンフレットについて、「白根高で誰よりも楽しむ3年間」というのはとても良い。進学への条件が整っている、という声も聞くが、やはり1度しかない3年間で輝かせるという感覚は大切。かつて中学で進路指導主事をしていた頃、「白根高校は県下で2番目に挨拶が良い学校」という話をしたことがある。（1位は航空高校）孫が中学3年だが、白根高校に行きたいと言っている。3年間で人間としての力をつけてもらえる学校であればよいなと思っている。包括連携協定も大変すばらしい。インターンシップについては、商工会のバックアップ等必要ではないか。

A 委員：昨年、1年生対象で職業人講話を実施した。その1部の講師は市で手配した。イ

ンターシップ受け入れ先の紹介についても、窓口になるよう取り組みをしていくつもりでいる。観光甲子園への参加についても、梨大と連携しながら成果として残していきたい。一過性のものでなく、持続させていきたい。

F 委員：今年インターンシップはどのように配属していくのか。

A 委員：声をかけてもらえれば、いろいろなところに繋げることができる。

諸連絡 今後の予定（資料 P 1 参照）

- ・学園祭について、委員の皆様にもお越しいただきたい。
- ・運営協議会を学園祭と同日に実施することが難しいと思われるので、年4回のところを年3回とさせていただいた。

校長： 本日は貴重なご意見をありがとうございました。今後ともご協力・ご支援をお願いいたします。10月31日については、ぜひご都合をつけてご参加ください。

閉会のことば（教頭）